

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3530	2,3620	2,3590	2,3650	2,3500	-0,0150
	USD/YEN	Spot	103,26	102,99	102,76	101,83	101,36	-0,4700
	EUR/USD	Spot	1,3872	1,3864	1,3908	1,3857	1,3907	+0,0050
	BRL/YEN	Spot	43,92	43,57	43,62	43,08	43,19	+0,1100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,06	1,11	1,14	1,17	1,20	+0,0290
		1Year(p.a.)	1,60	1,64	1,62	1,61	1,63	+0,0210
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,99	10,95	10,73	11,00	10,98	-0,0139
		1Year(p.a.)	11,36	11,28	11,30	11,37	11,32	-0,0431
Stock	Bovespa		45.533	45.698	45.862	45.444	44.966	-478,17
Bond	CDS Brazil 5y		172,00	175,00	178,00	181,00	181,00	
	Global 40		113,800	113,675	113,850	113,800	113,850	+0,0500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経済活動(前月比)	0.94%	1.26%	-1.40%	なし
経済活動(前年比)	0.40%	0.93%	0.71%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.3410 で寄り付いた。
- 週初は中国の 2 月の貿易収支が 2 年振りの大幅な赤字となったほか、CPI 上昇率が 13 カ月振りの低水準を記録したことが嫌気されリスク資産の売りが見られた。レアルは寄り付き後ブラジル企業が海外で資金調達を行うとの思惑が強く、リスク資産の売りの動きに反して買いが見られ直ぐさま週間高値となる U\$1=R\$2.3280 を付けたが、直後にリスク資産売りの動きにかられて 2.35 台まで反落した。
- 翌 11 日には伯鈴工業生産が予想を上回ったことが好感されるとレアルは 2.34 台前半まで買い戻されたほか、ブラジル企業が海外で資金調達を行うとの思惑が引き続き強く、レアルは 2.3390 まで反発した。しかしエマージング通貨が対ドルで売り戻されるとレアルもつられて反落した。
- 週央にかけては中国の経済成長に減速の兆候が表れていることからリスクオフモードの動きが見られ、レアルは 2.37 台前半まで売り進めた。
- 翌 13 日には大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは上昇したが、予想比良好な結果となった米経済統計のほかに弱い中国の統計や緊迫化するウクライナ情勢が嫌気され、ドルが対主要通貨で上昇、レアルもじりじりと反落する展開となった。
- 週末にかけてレアルは週間安値となる U\$1=R\$2.3760 を付けた後、2.3500 と 2.3700 の間で行って来いとなり、結局 U\$1=R\$2.3500 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資活動を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
3/17	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Mar	1.26%	0.30%
3/17	FGV CPI IPC-S	mar/16	--	0.71%
3/17	貿易収支(週次)	mar/16	--	--
3/17	税収	Feb	123000M	123667M
3/17	登録雇用創出合計	Feb	120.651	29.595
3/19	FIPE CPI-週次	mar/15	--	0.57%
3/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Mar	1.06%	0.24%
3/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Mar	0.73%	0.70%
3/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Mar	5.90%	5.65%
3/21	CNI産業信頼感	Mar	--	52.4

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.30-2.36

今週は海外要因を受けてリスクオフモードとなりレアルも売られた一方、ブラジル企業による海外での資金調達が予想を上回る需要が見られ、レアル買いのサポートとなつた。来週は海外では米 FOMC の開催を控えており、イエレン議長が就任してから初の会合であり、終了後に議長会見もある。市場では資産購入ペースの減速に関して大きな変更が期待されていない一方、FRB は資産購入額の 100 億ドル削減を 3 会合続けて決めるとの見方が強い。更に、フォワード・ガイダンスについては失業率が 6.5%を上回り、インフレ見通しが 2.5%を超えない限り主要政策金利を引き上げない方針を維持しているが、現状に合わなくなってきたことから修正される可能性があり、その場合にはドル売りレアル買いに繋がるだろう。